

# Busman's Holiday

The act of explaining the new album

LOCAL BUS - 2016年3月6日

KEIJI NAGASHIMA ;

- まずは、アルバムタイトルである「Busman's Holiday」。

意味合い的には、バスの運転手さんが休日にドライブに出掛け、仕事と変わらない事を休みの日にもするという事からきたらしいです。

当時、ろくに仕事もせず、四六時中音楽制作三昧の日々を送っていたので、ある意味このタイトルが相応しく名付けた気がします。

売れたら元がとれるなんて浅はかな考えがあったのでしょうか（若気の至り）。何の根拠も無い自信がありました。

## 1.T\_O\_L\_B

- 元々のタイトルはUnder the sun。そう、デビューアルバム「椋鳥ロビン」に収録された♪Under the~ の、原型となった曲なんです。デビューアルバムを制作する際にこの曲が何だか幼い感じがして急遽作り直しました。なのでコードは比較的同じなはずです。なぜ今回不可解なタイトルにしたのか。元々のタイトルUnder the sunにはダサイサブタイトルを当時付けてまして、それが~theme of Local Bus~だったのであります。そしてその頭文字をとってT\_O\_L\_B。何だか顔文字っぽくてそのまま採用する事になった訳です。最後の拍手なんてダサイ。でもそのダサさが良いので残しました。

## 2.Lemon & Orange

- 当時僕の中ではスウェーディッシュポップが流行っていたので思い切り影響された曲です。僕もこの頃はコーラスなんかも参加してたんですね〜。

ボサノヴァっぽいコード進行が弾けたのでそれをどうしても入れたかったのかと。だいたいコード進行だけノミさんに渡してこれにメロディを付けて！って無茶ぶりをしてましたね。ドラムは知人のドラマーの方に叩いてもらったものを聞きながら打ち込み直してます。

## 3.世界

- この曲を作った時の記憶があまりないのです。そんなに苦労せずに出来たのかな？

僕の中では色に例えると赤黒いイメージ。ジャケットはこの「世界」のイメージに引き寄せられたと思います。

そういえば制作そっちのけで近所の池にバス釣りに行っていた事を思い出します。ジャケットの写真はその池に行く道中のもの。生い茂ってます。



わたしのイメージは海です〜  
ひとりマイクの前に残されることもありましたが(笑);でも、鶴の恩返的体質(?)のせいかな、その方が能率的ではありません(N)

音楽的な話だと曲の展開が今では考えられない。

この頃はコードとか理論とか全く分からずにただ感覚だけ

でやってた。。。楽器の音を出してひたすらしっくりくるまでやり続ける。

ベースラインに凝っていた時期でもあったのでベースは最後にいれる事が多かったと思います。

## 4.simple

- 他の曲が多重録音を楽しむ為に色々な音を取りあえず放り込んでいたので、もっとシンプルな曲をといて作ったはずなんです。多分アレンジ的にも面倒臭いと思い初めてきたのでは。。

## 5.CONFUSED

- これまた僕がエレキギターを掻き鳴らしリフを考えた後にノミさんに無茶ぶりしたものの。

どんな無茶にも期待以上のもので返してくれました。

歌詞で「ファイオー」の所では野太い男の掛け声をいれたバージョンがあったはずでしたが見つからず。

ドラムも打ち込みなので実際だと叩けるものかはわかりませぬ。。

## 6.Jeff

- この曲は全く以てアレンジが定まらず苦労しました。なので色々なバージョンが散らかったままになってます。

これも未完成のもの。しかし、長い歳月を経て聴いてみると一周していい感じになったかと。

## 7.泡沫日和

- Lemon & Orangeの別バージョン。当時は機材が変わる度に録音し直してたのでノミさんが同じ事の繰り返しで嫌気がさしたのかこのバージョンを作ってきました。パーカッション類は最後にサンプラーやオモチャのシェイカーなどを使って入れてます。



歌がすごく下手ですみません。  
オリジナルのポップさに合わせ、元気そうに歌うことに疲れ果てたのです。ちょっとのんびりした感じでやりました。

当時は僕の実家の二階で作業してましたが西陽のさしかかった夕刻を思い出します。